

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	社会福祉の原理と政策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	5校舎10階
担当教員	友居 和美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
歴史を振り返りながら、現在のわが国の社会福祉のしくみや制度がどのように形成され、発展してきたのかを学習し、社会福祉の原理、思想、哲学と理論を理解します。「社会福祉とは何か」について考える視点を身につけることをめざします。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70%、出席20%、平常点10%とします。その他、小テストを随時実施し、点数を評価に加味します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
『社会福祉の原理と政策』中央法規 その他レジュメ、資料を随時配布します。また、授業内容に応じてDVD等の視聴覚教材、PCのパワーポイントを使用します。 参考図書は随時、講義中に紹介します。						
《授業外における学習方法》						
使用テキストを読んで講義内容の予習を行うこと、前回の授業内容を復習すること。 小テストを受ける際には、講義内容を復習して準備すること。						
《履修に当たっての留意点》						
授業科目名のとおり、福祉は社会と密接に関わっています。自分の将来の職業選択のみならず、自分自身の現在の生活や将来設計とも密接に関係していることを認識し、授業だけでなく日常生活において福祉に関心を持つよう心掛けてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1990年代および2000年以降における社会福祉政策について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	【第6章 少子高齢化時代の福祉政策第2節3】その1 1990年代から2000年にかけての社会福祉政策の動向について、社会福祉の計画化・主体化に焦点をあてて説明する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1990年代および2000年以降における社会福祉政策について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	【第6章 少子高齢化時代の福祉政策第2節3】その2 介護保険制度の創設と社会福祉基礎構造改革、現在の分野横断的福祉政策について説明する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策における必要(ニーズ)と資源について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	【第7章 福祉政策における必要と資源】 福祉政策における必要の概念と分類、資源について説明する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのような理念が福祉政策の制度的枠組みの根拠となっているかについて理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	【第8章 福祉政策の理念・主体・手法 第1節】 社会福祉の発展過程のなかで論じられてきたさまざまな理念について説明する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉サービスの供給主体の分類、規制と給付の分類を理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと	
		各コマにおける授業予定	【第8章 福祉政策の理念・主体・手法 第2～3節】 福祉多元主義を背景とする福祉サービスの供給主体の分類、規制と給付の分類について説明する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	所得保障、雇用政策の役割・意義を理解し、福祉政策との連携のあり方について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第9章 福祉政策の関連領域 第1～4節】 所得保障と福祉政策、雇用と福祉政策について説明する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育や住宅に関する政策の役割・意義を理解し、福祉政策との連携のあり方について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第9章 福祉政策の関連領域 第5～7節】 教育と福祉政策、住宅と福祉政策について説明する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉制度の構造について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第10章 社会福祉制度の体系 第1節】 今日の社会福祉制度の構造や社会福祉の担い手について説明する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉制度と福祉サービスについて理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第10章 社会福祉制度の体系 第2節】 今日の社会福祉制度における福祉サービスの提供方法(措置制度、介護保険方式、自立支援給付方式など)について説明する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉供給の仕組みと供給の過程について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第11章 福祉サービスの提供】 福祉サービスの供給体制と提供体制について説明する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	相談援助の原則・視点・考え方の方法について理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第12章 福祉サービスと援助活動】 援助の原則・視点・考え方について「バイスティックの7原則」「病理モデルと生活モデル」「ストレングスとエンパワメント」を用いて説明する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	欧米諸国の福祉政策の発展過程や制度の特徴を理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第13章 福祉政策の国際比較 第1節】 欧米の福祉制度の発展過程や制度について説明する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	東アジア諸国の福祉政策の発展過程や制度の特徴を理解する	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第13章 福祉政策の国際比較 第2節】 東アジア諸国の福祉制度の発展過程や制度について説明する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代社会の生活不安や福祉問題について考察できる視点を得る	上記テキスト、配布レジュメ等	テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと
		各コマにおける授業予定	【第14章 福祉政策の課題と展望】 現代社会における福祉政策の課題と展望について説明する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義で学習したことを振り返り、知識を確実なものにする	上記テキスト、配布レジュメ等	試験に備え、これまでの復習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	復習とまとめ。期末試験実施。		